

令和元年度

第2回 群馬地域振興協議会 次第

日 時:令和2年1月24日(金)

午前10時30分～

場 所:群馬支所 3階 311会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

①群馬地域に関わる事業報告について

②群馬地域のまちづくりに関する意見について

4 連絡事項

5 閉 会

<配布資料>

資料 1 群馬地域に関わる事業報告一覧

資料 2 群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料 平成30年度 高崎市決算の概要について

群馬地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所 属 (支 所)
1～2	北谷遺跡保存整備事業	文化財保護課
3～5	群馬中央第二土地区画整理事業	区画整理課
6～8	菅谷高畑土地区画整理事業	区画整理課
9	群馬地域のお祭りについて	報告 地域振興課 (産業課) かみつけの里博物館 (地域振興課)

群馬地域に関わる事業報告書

令和元年10月31日現在

事業名	北谷遺跡保存整備事業	所属 (支所)	教育部文化財保護課
実施期間	平成12年度～全期	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	史跡指定地の公有地化		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
国指定史跡北谷遺跡(平成 17 年 7 月 14 日指定)を適切に保存・管理するとともに、市民共通の歴史遺産として活用を図る。	市民共有の歴史遺産である北谷遺跡を後世に伝えて行くために、史跡地の公有地化を進める。	指定面積 3.6ha 平成 12～15 年度 範囲確認調査 平成 16 年度 調査報告書刊行 平成 18 年度 説明板設置 平成 23 年度 保存管理計画策定 平成 28 年度～ 公有地化	

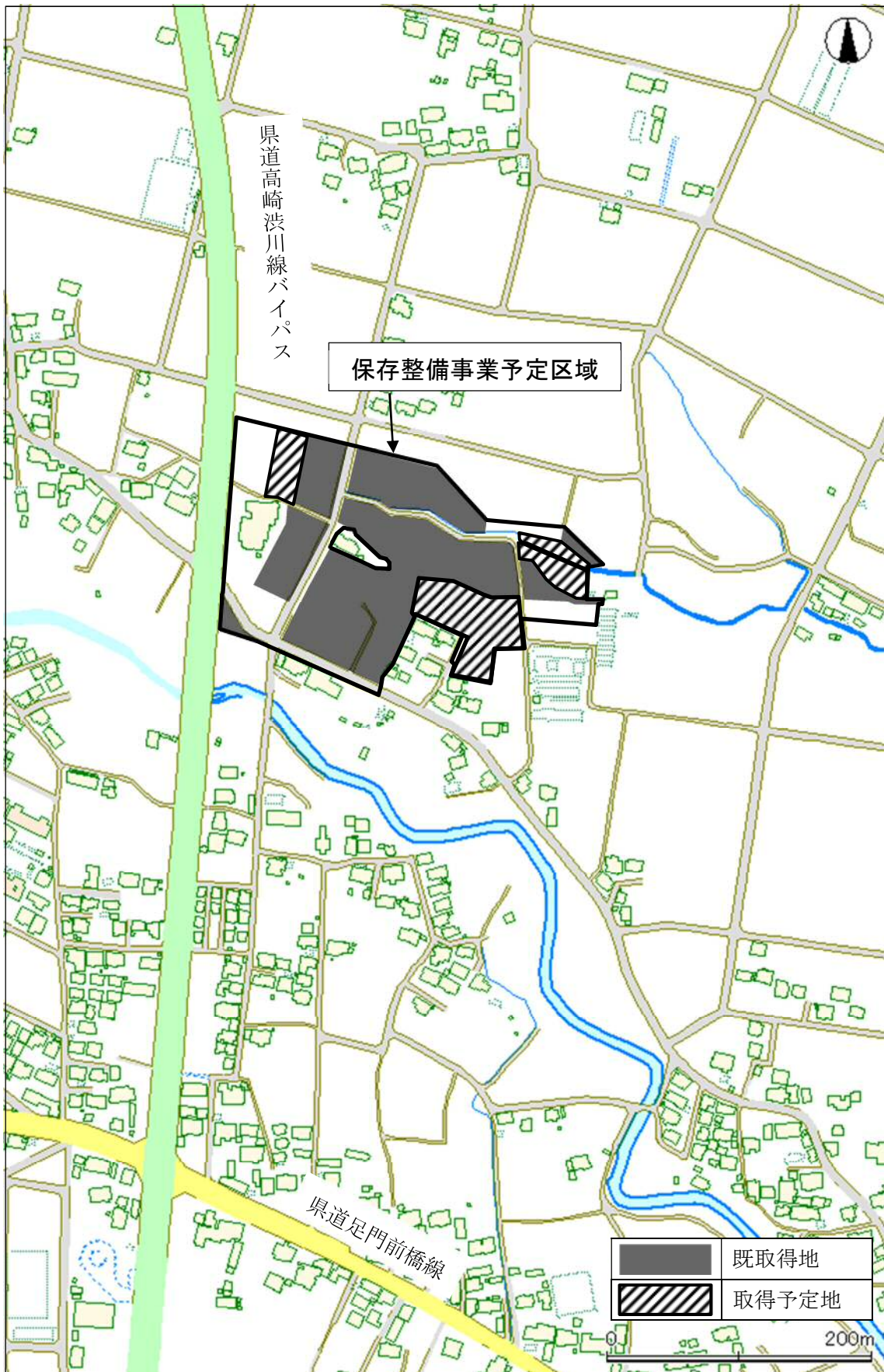
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成30年度事業実績
合計	95,568	95,293	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地の公有地化(3年目) ・史跡地(既取得地)の除草管理
国	75,271	75,192	
県	5,645	5,639	
地方債	0	0	
その他	0	0	
一般	14,652	14,462	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	令和元年度事業進捗状況
合計	88,586	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地の公有地化(4年目) ・史跡地(既取得地)の除草管理 ・史跡の追加指定に係る意見具申書を7月末に提出
国	69,005	
県	5,175	
地方債	10,200	
その他	0	
一般	4,206	

北谷遺跡保存整備事業用地取得予定地



群馬地域に関わる事業報告書

令和元年10月31日現在

事業名	群馬中央第二土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年度～平成45年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	合理的な土地利用と公共公益施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施行面積】 72.02ha 【総事業費】 13,420百万円 【事業概要】 都市計画道路5,043m、区画道路14,525m 特殊道路511m、水路271m、公園19,560㎡、上水道13,825m、調整池1箇所、物件移転268戸 H30度末進捗率 46.7%

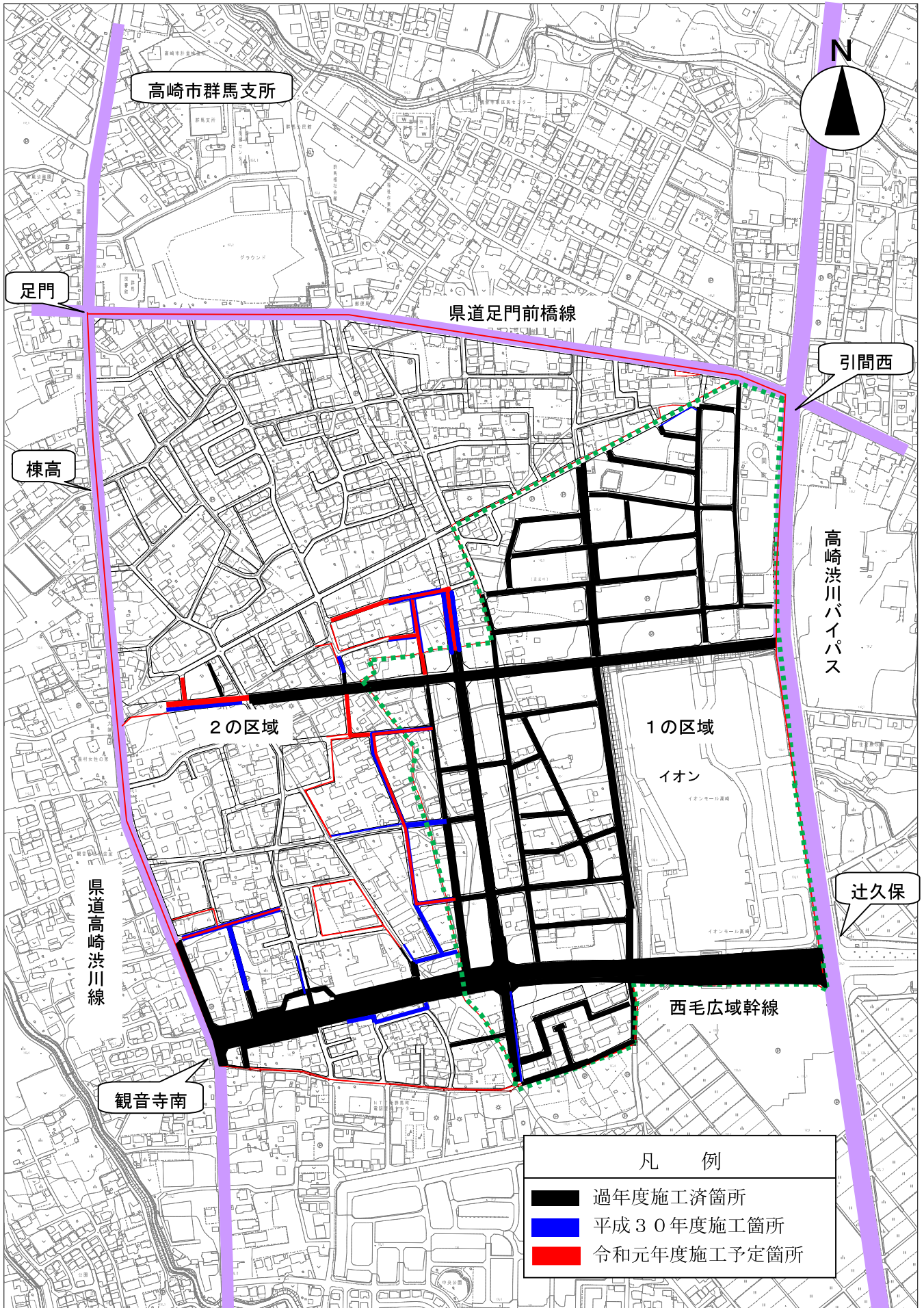
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成30年度事業実績
合計	363,998	652,770	・道路築造工事外 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	130,063	267,400	
県	—	—	
地方債	81,900	176,000	
その他	—	—	
一般	152,035	209,370	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	令和元年度事業進捗状況
合計	429,051	・道路築造工事外 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	156,977	
県	—	
地方債	152,900	
その他	—	
一般	119,174	

令和元年度 中央第二土地区画整理事業 位置図



① 都市計画道路
棟高観音寺線

〔 撮影方向 〕
南から北



② 区画道路 6-125 号線

〔 撮影方向 〕
西から東



③ 区画道路 6-130 号線

〔 撮影方向 〕
南から北



群馬地域に関わる事業報告書

令和元年10月31日現在

事業名	菅谷高畑土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年度～平成37年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対象	菅谷高畑区画整理地区		
実施目的	具体的手段	その他	
合理的な土地利用と公共施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施行面積】 21.89ha 【総事業費】 4,470 百万円 【事業概要】 都市計画道路 1,486m、区画道路 4,958m、特殊道路 116m、水路 79m、公園 6,825 m ² 、上水道 7,856m、物件移転 101 戸 H30 末進捗率 90.6%	

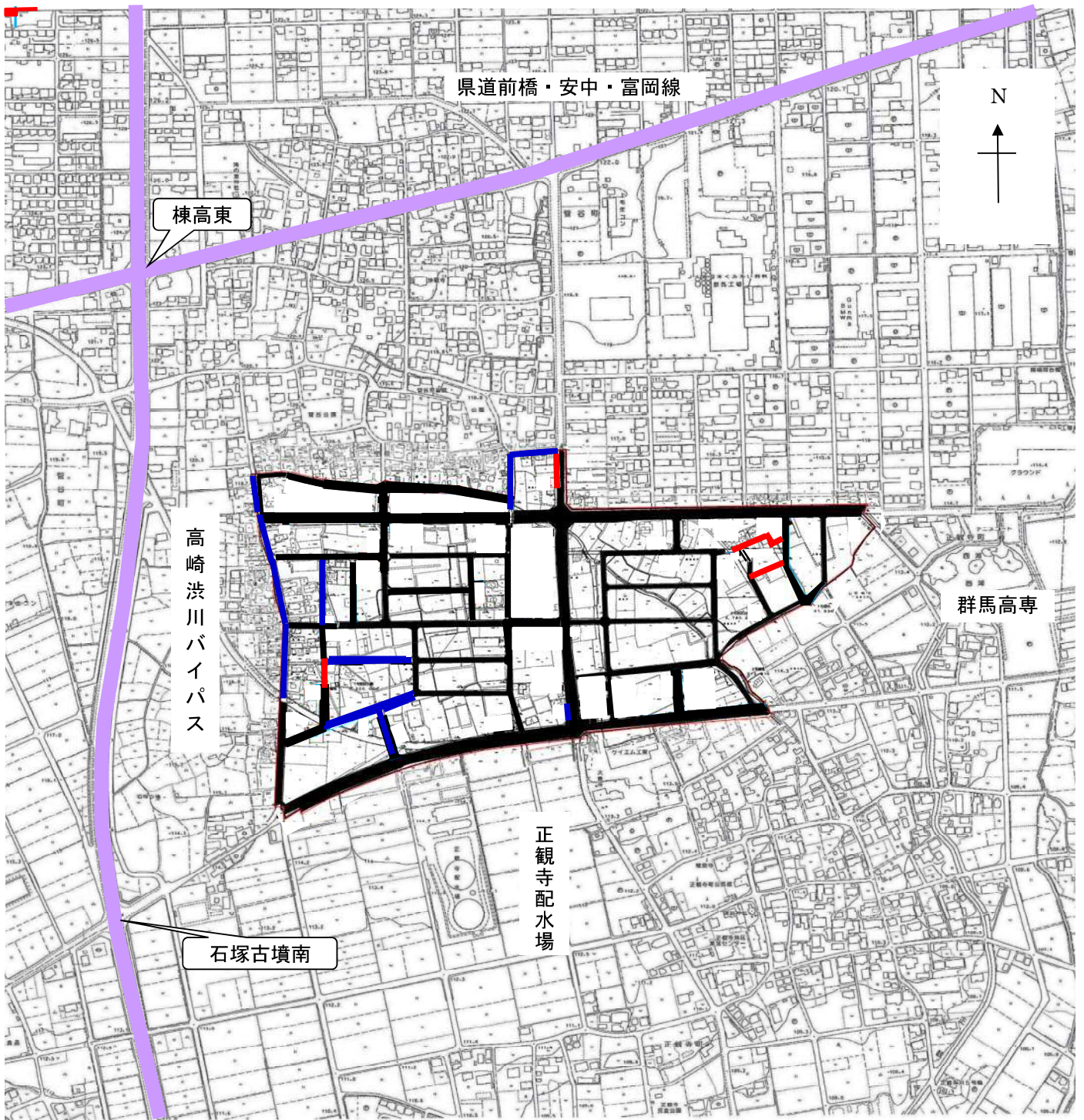
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成30年度事業実績
合計	174,200	173,404	・道路築造工事外 ・建物移転補償物件外 ・文化財調査委託
国	71,500	71,500	
県			
地方債			
その他			
一般	102,700	101,904	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	令和元年度事業進捗状況
合計	54,480	・道路築造工事外 ・墓地・工作物移転補償物件外 ・文化財調査業務委託
国	3,014	
県		
地方債		
その他		
一般	51,466	

菅谷高畑土地区画整理事業 位置図



凡 例	
	・・・過年度施工済箇所
	・・・平成30年度施工箇所
	・・・令和元年度施工予定箇所

菅谷高畑土地区画整理事業 令和元年度事業



写真No. ①

撮影内容

区画道路35号線

道路築造工事

北方向から望む



写真No. ③

撮影内容

都市計画道路 菅谷中央線

道路築造工事

南方向から望む



写真No. ③

撮影内容

区画道路3号線

道路築造工事

南方向から望む

群馬地域に関わる事業報告書

令和元年10月31日現在

事業名	群馬地域のお祭りについて	所属 (支所)	(群馬支所地域振興課)
実施期間	令和元年度	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対象	実施目的	具体的手段	その他
	区域内の施設や公園などを活用して祭りを開催することにより、区域内住民の交流を図るとともに、地域活性化を図る。	区域内の施設や公園などの利用。住民参加型による祭りの開催。年齢層を幅広く参加できる祭りの開催。	ぐんま「はにわの里」夏まつり (群馬支所産業課) かみつけの里古墳祭り (かみつけの里博物館) 上野国分寺まつり (群馬支所地域振興課)

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成30年度事業実績
合計	18,909	18,909	ぐんま「はにわの里」夏まつり H30.8.19(日) ふれあいステージ(郷土芸能・一般参加)、ひまわり迷路等
国			
県	2,500	2,500	かみつけの里古墳祭り H30.10.21(日) 王の儀式再現劇上演、郷土料理・古代米の試食等
地方債			
その他	1,709	1,709	上野国分寺まつり H30.10.28(日) 天平衣装行列、天平衣装の着付体験コーナー等
一般	14,700	14,700	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	令和元年度事業進捗状況
合計	19,330	ぐんま「はにわの里」夏まつり R1.8.18(日)実施 ふれあいステージ(郷土芸能・一般参加)、ひまわり迷路等
国		
県	2,500	かみつけの里古墳祭り R1.10.19(土)実施 王の儀式再現劇上演、郷土料理・古代米の試食等
地方債		
その他	2,130	上野国分寺まつり R1.10.20(日)実施
一般	14,700	天平衣装行列、天平衣装の着付体験コーナー等

群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

群馬支所 地域振興課

内容区分	意見	回答
燃やせるゴミの収集について	<p>生ゴミ等の収集は毎週2回、収集日当日の朝8時30分までに決められた場所に出すことになっている。</p> <p>しかし、各所ステーションによっては午後2時を過ぎても回収されていないようである。夏場には臭気もひどく、街の景観を著しく損ねている。</p> <p>他県では、交通渋滞の深刻化を避け、作業能（効）率アップの為、夜間にゴミを収集しているところもある。</p> <p>そのメリットとして「夜間には鳥も荒らさない」「暗い夜道を走るゴミ収集車は防犯にも役立つ」等があり、多くの市民に支持されていると聴くので、 当市においても冬場は兎も角、夏場には試行検討の余地があると思う。</p>	<p>夜間収集を導入している自治体もあるが、夜間収集にはメリットがある一方、委託費の高騰や、ごみ出しの際の安全性の問題、また作業車から出る音の問題などが懸念されることなど、デメリットも多いと考えられ、導入は難しいという認識である。</p> <p>一番の問題は、午後2時を過ぎても回収されないステーションがあることなので、ごみ収集効率をアップするため、水切り運動などごみの減量を推進するとともに、ごみ収集作業が少しでも効率よく行えるよう委託業者等と検討するなど配慮していきたいと考えている。</p> <p>このようなステーションは衛生上、景観上好ましくないなので、夜間収集はなかなか難しいが、午前中の早い時間に収集できるよう方策を至急検討する。</p>

内容区分	意見	回答
群馬保健センターについて	<p>群馬地域の人口増加と道路網の整備等による他地域からのアクセスの良さにより、健診や届け出、相談の件数が増えていると思われる。</p> <p>そうした中で保健センターでは、どのような対応を取っているのか伺いたい。</p> <p>また、乳児健診等で使用する保健センター2階の会場は狭く、赤ちゃんを抱っこし、荷物も多いお母さんが階段を上がらなくてはならず、上のお子さんを連れて来られるお母さんもいるため、もう少し広く安心して健診が受けられる保健センターへの改善を望む。</p>	<p>保健センターでは、お住いの地域に関係なく乳幼児から大人を対象とした健診や教室の他、妊娠の届出などの受付を行っており、来所される方の増加にあわせて、職員数を検討し配置している。また、地区担当保健師による家庭訪問の他、状況に応じて子育て支援関係機関と連携し支援を行っている。</p> <p>乳幼児健診に際しては、群馬地域の出生増により健診会場が狭く感じてしまう状況がある。このため、対象児の多い健診月については、開催回数を増やし、混雑の緩和が図られるような日程調整に努めている。</p> <p>群馬保健センターについては、安全面や機能面など総合的に検討し、健康増進のための施設として計画的な整備に努める。</p>

内容区分	意見	回答
自然災害発生時の障害者への対策について	<p>自然災害発生時、対策が各県で必要に迫られていると思うが、その中で障害のある方に対する対策はどのように考えているか伺いたい。</p> <p>また、高崎市では、特別な対策を必要としている人は何人位いるか併せて伺いたい。</p>	<p>本市では、災害対策基本法に基づいて、障害者や要介護認定者、一人暮らし高齢者などを登載した「避難行動要支援者名簿」を作成している。この名簿は、本人の同意を得たうえで、消防局や警察、地元町内会、民生委員などと情報共有を図っており、災害時の隣近所での助け合いによる避難支援や安否確認に活用することとしている。</p> <p>こうした共助による助け合いが得られない場合は、本市が開設している災害専用電話（321-5000）に避難支援の要請をしていただければ、公用車等による避難所までの移送支援を行っている。また、災害の規模に応じて、避難所で必要となる物資や福祉用具等の手配、福祉避難所の開設などを行っている。</p> <p>ただし、大規模災害時には、多くの混乱が生じることも想定されるため、日頃から各家庭においても、避難所や移動手段の確認、避難用の持ち出し袋の用意など、自助による十分な準備をお願いしたいと考えている。</p> <p>なお、本市の避難行動要支援名簿の登載者は、約2万人である。</p>

平成30年度高崎市決算の概要について

- 1 平成30年度の「一般会計」と「各特別会計」の決算は下表のとおりとなりました。
 「一般会計」の歳入は、1,667億2,035万円、歳出は、1,618億711万円で、歳入・歳出の款別構成状況は、2ページ・3ページのグラフのとおりです。
 なお、表中の各金額は万円未満を四捨五入しているため、計数整理の結果、表内で異同を生じることがあります。

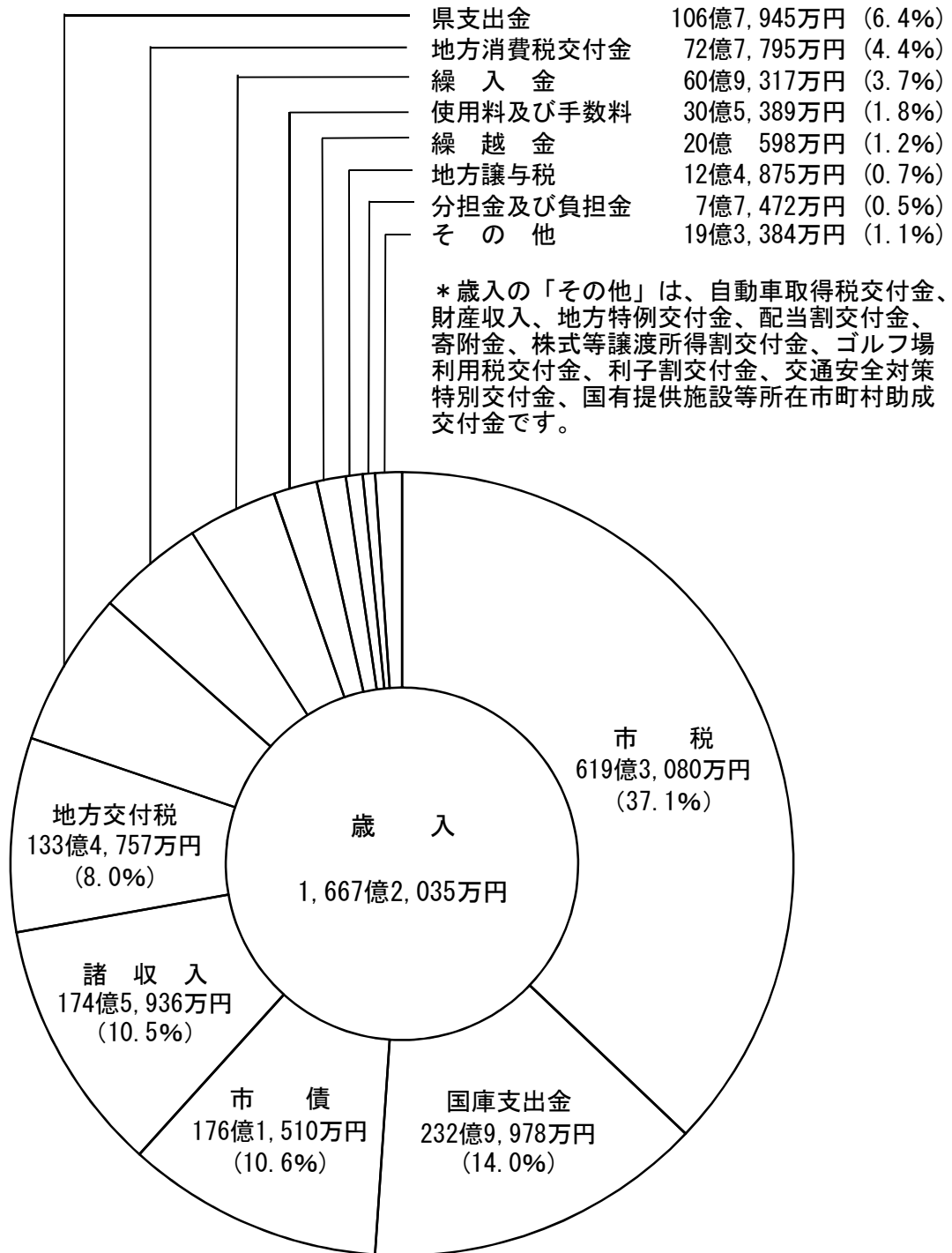
一般会計・各特別会計歳入歳出決算一覧表

(単位 万円)

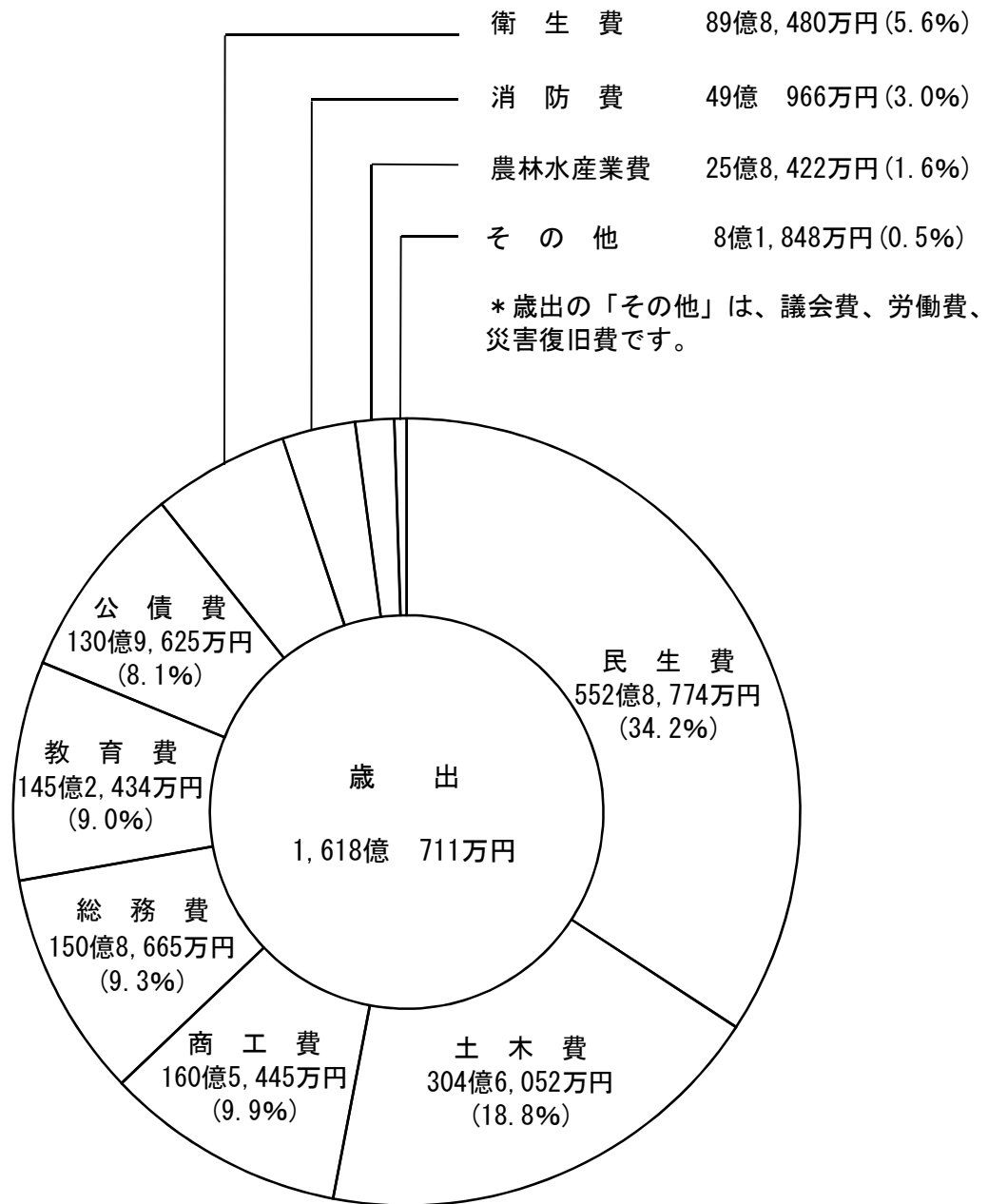
区 分	予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,688億7,000	1,667億2,035	1,618億 711
特 別 会 計	758億8,927	763億2,077	750億3,278
国民健康保険事業	362億4,666	365億5,414	359億4,724
介護保険	339億5,916	339億8,892	333億9,645
牛伏ドリームセンター事業	1億2,287	1億2,606	1億1,220
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	7,036	7,504	4,877
後期高齢者医療	45億4,604	46億3,525	45億8,832
農業集落排水事業	1億6,046	1億5,994	1億5,837
駐車場事業	2億4,134	2億3,903	2億3,903
土地取得事業	5億4,239	5億4,239	5億4,239
合 計	2,447億5,927	2,430億4,111	2,368億3,988

一般会計歳入・歳出決算額の款別構成状況

【歳 入】



【歳 出】



- ◎ 歳入決算額 1,667億2,035万円 (A)
 歳出決算額 1,618億 711万円 (B)
 差引額 (A) - (B) = 49億1,324万円

※差引額のうち、翌年度へ繰越すべき財源として、繰越明許費繰越額
 6億4,295万円を繰越し、さらに財政調整基金へ33億円積み立て、
 残りの9億7,029万円を翌年度への繰越金としました。

2 普通会計による決算状況

※普通会計とは、他の地方公共団体（県や市町村）などと比較しやすいように、「一般会計」と「特別会計のうち公営事業会計以外の会計」を総合してひとつの会計としてまとめ、全国共通の基準に調整した会計です。

歳入		(単位 万円)					
区 分	年 度	29年度		30年度		伸 率	伸 率
			構成比		構成比		
			%	%	%	%	%
1	地 方 税	606億 21	36.8	1.2	619億3,080	37.1	2.2
2	地 方 譲 与 税	12億3,880	0.8	△0.1	12億4,875	0.7	0.8
3	利子割交付金	9,094	0.1	75.9	8,935	0.1	△1.7
4	配当割交付金	2億5,136	0.1	51.8	1億9,403	0.1	△22.8
5	株式等譲渡 所得割交付金	2億5,779	0.2	167.0	1億6,183	0.1	△37.2
6	地方消費税 交 付 金	69億 245	4.2	6.3	72億7,795	4.4	5.4
7	ゴルフ場利用 税 交 付 金	1億2,728	0.1	△8.4	1億2,404	0.1	△2.5
8	自動車取得税 交 付 金	3億8,591	0.2	35.8	3億9,640	0.2	2.7
9	国有提供施設 等助成交付金	3,147	0.0	△6.6	3,117	0.0	△0.9
10	地方特例交付金	2億7,485	0.2	6.7	3億1,793	0.2	15.7
11	地方交付税	141億 474	8.6	△4.8	133億4,757	8.0	△5.4
	普通交付税	121億5,892	7.4	△4.5	113億6,135	6.8	△6.6
	特別交付税	19億4,582	1.2	△6.5	19億8,622	1.2	2.1
12	交通安全対策 特別交付金	8,565	0.0	△3.4	7,960	0.0	△7.1
13	分担金・負担金	9億9,004	0.6	△8.4	8億2,926	0.5	△16.2
14	使用料・手数料	31億4,870	1.9	△0.5	30億6,985	1.9	△2.5
15	国庫支出金	225億9,764	13.7	0.9	233億7,716	14.0	3.4
16	県支出金	108億3,307	6.6	11.7	108億 4	6.5	△0.3
17	財 産 収 入	2億7,235	0.2	△33.4	2億3,305	0.1	△14.4
18	寄 附 金	1億3,824	0.1	16.9	1億6,288	0.1	17.8
19	繰 入 金	60億6,387	3.7	13.9	60億9,373	3.7	0.5
20	繰 越 金	20億2,738	1.2	△34.1	20億3,954	1.2	0.6
21	諸 収 入	193億3,352	11.8	△7.9	173億3,420	10.4	△10.3
	貸付金元利収入	156億8,276	9.6	△9.7	137億2,516	8.2	△12.5
22	地 方 債	146億9,400	8.9	△13.9	176億1,510	10.6	19.9
	合 計	1,644億5,025	100.0	△1.4	1,667億5,421	100.0	1.4

歳 出

(単位 万円)

区 分	年 度	29年度		30年度			
			構成比	伸 率		構成比	伸 率
			%	%		%	%
1 人 件 費		201億9,682	12.7	△1.8	203億6,765	12.6	0.8
うち職員給		128億 288	8.0	0.2	128億7,157	8.0	0.5
2 扶 助 費		341億6,391	21.4	0.9	344億1,305	21.3	0.7
3 公 債 費		138億5,337	8.7	2.3	136億3,864	8.4	△1.5
4 物 件 費		187億2,682	11.7	4.3	193億7,868	12.0	3.5
5 維 持 補 修 費		13億2,761	0.8	△7.3	13億4,504	0.8	1.3
6 補 助 費 等		170億4,355	10.7	△2.8	170億1,644	10.5	△0.2
7 積 立 金		9億6,589	0.6	△7.7	8億5,648	0.5	△11.3
8 投 資 ・ 出 資 金							
貸 付 金		157億1,020	9.9	△9.7	137億6,256	8.5	△12.4
うち貸付金		156億6,857	9.8	△9.7	137億1,737	8.5	△12.5
9 繰 出 金		115億8,131	7.3	1.3	118億4,849	7.3	2.3
10 普 通 建 設 事 業 費		257億3,812	16.2	△5.0	291億8,768	18.1	13.4
うち補助事業費		130億6,612	8.2	47.1	146億2,479	9.0	11.9
うち単独事業費		126億7,200	8.0	△30.4	145億6,289	9.0	14.9
11 災 害 復 旧 費		313	0.0	12.4	0	0.0	皆減
合 計		1,593億1,071	100.0	△1.6	1,618億1,469	100.0	1.6
歳 入 歳 出 差 引 剩 余 金		51億3,954	—	2.2	49億3,952	—	△3.9

3 平成30年度普通会計による県内他市との比較

(単位 万円)

区 分	高崎市	前橋市	桐生市	伊勢崎市	太田市	
人口 (H31.3.31現在)	373,331人	336,641人	111,295人	213,213人	224,271人	
歳入総額	1,667億5,421	1,377億2,031	451億6,439	782億3,056	781億3,262	
歳出総額	1,618億1,469	1,344億9,493	425億7,354	758億2,361	755億6,726	
実質収支	42億9,658	25億5,229	25億5,260	22億9,120	18億9,933	
実質収支比率	5.2%	3.4%	9.9%	5.4%	4.2%	
経常収支比率	94.4%	98.0%	93.6%	96.7%	90.5%	
地方債現在高	1,486億1,261	1,545億 566	344億6,970	703億6,971	649億1,428	
実質公債費比率	5.8%	8.2%	4.9%	5.0%	5.6%	
将来負担比率	37.1%	64.9%	—	39.7%	35.2%	
財政力指数	0.856	0.821	0.573	0.844	1.036	
積立金 現在高	財政調整基金	66億3,035	62億7,110	38億3,915	47億6,867	117億8,364
	減債基金	11億4,869	4億 229	2億7,346	10億3,585	13億8,245
	その他	76億6,372	38億2,921	48億2,510	30億7,464	3億1,156

※用語の説明

実質収支	歳入から歳出を差し引いた額を「形式収支」といいますが、この「形式収支」から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額のことをいいます。
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支の割合です。
経常収支比率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般財源収入額のうち経常的な経費に充当される一般財源の割合で、比率が高いほど財政運営が硬直化していると考えられます。
実質公債費比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、市債の元利償還金及びこれに準ずる経費の、標準財政規模に対する比率です。この比率が25%以上になると早期健全化団体、35%以上で財政再生団体となります。
将来負担比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率です。市町村では、350%以上になると財政の早期健全化を図ることとなります。
財政力指数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3カ年平均値で、数値が1に近くあるいは1を超えるほど財政力が強いとされています。
財政調整基金	突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置された基金です。また、決算剰余金が多いときは積み立て、財源不足時に取り崩すという、年度間の調整的な役割も果たします。
減債基金	市債(借金)の償還(返済)の増加に備えるために設置される基金です。公債費が他の経費を圧迫するような場合には、この基金を取崩して公債費に充てます。